

博士論文の要旨及び審査結果の要旨	
氏名	RANA Sohel
学位	博士（農学）
学位記番号	新大院博（農）第 222 号
学位授与の日付	令和 4 年 3 月 23 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
博士論文名	Sustainable Regional Development through Entrepreneurship and Social Innovation: Empirical Analysis on a <i>Haor</i> Region of Bangladesh (起業家精神と社会的革新による持続可能な地域開発：バングラデシュのハオール地域に関する実証分析)
論文審査委員	主査 教授・木南 莉莉 副査 教授・岡崎 桂一 副査 教授・藤村 忍 副査 准教授・平泉 光一 副査 助教・古澤 慎一 副査 助教・氷見 理
<p>博士論文の要旨</p> <p>本研究の主な目的は、バングラデシュの条件不利地域であるハオール地域での持続可能な地域開発に向けたコミュニティレベルでの災害リスク管理における社会文化的変化と農民のパフォーマンスに対する起業家精神と社会的革新の役割を評価することである。</p> <p>研究の目的を達成するために、既存研究の文献レビューとバングラデシュのハオール地域の現状と特徴を踏まえて、検証するための仮説を以下のように設定している。すなわち、「持続可能な地域開発には、起業家精神の発達による社会的および文化的変化が必要である」(仮説 1)；「CIG (Common Interest Group: 共通利益集団) は、社会政治的変革を通じて女性に力を与えるための効果的なアプローチである」(仮説 2)；「コミュニティレベルでの災害リスク管理における農家のパフォーマンスは、彼らの社会経済的属性、社会関係資本、および地方機関へのアクセスによって決定される (仮説 3)」。上記の仮説を検証するために、地元の起業家の事例研究、さまざまな利害関係者へのインタビューとグループディスカッション、および農家に対するアンケート調査を基に、定性的アプローチ (Trajectory Equifinality Modeling: 複線径路等至性モデリング) と定量的アプローチ (Structural Equation Modeling: 構造方程式モデリング) の両方を導入した。そして、得られた実証分析の結果は以下の通りである。</p> <p>第一に、男性 3 例と女性 3 例の事例に対する TEM 分析の結果、社会関係資本の質は社会政治的背景によってグループごとでは異なるものの、起業家精神の発達においてどの事例にとっても重要であることが明らかになった。さらに、女性のケースは、男性の起業家のケースと比較して、家族やコミュニティにおける女性の役割に対する認識の変化を示した。したがって、持続可能な地域開発には、起業家精神の発達による社会文化的および政治的な関係の変化が必要である (仮説 1 が支持されている)。</p> <p>第二に、CIG(共通利益集団)アプローチは、社会関係資本の蓄積を通じて地方の農業コミュニティが地元の制度にアクセスするためのプラットフォームを構築したことが明らかになった。さらに、この地域では女性農業者の起業家育成はまだ限られているものの、農家の女性は CIG アプローチを通じて女性農業者として公式に認められている。したがって、「CIG は社会政治的変革を通じて女性に力を与える効果的なアプローチである」(仮説 2) は本研究において十分に検証されていないが、対象地域は CIG アプローチを通じて社会政治的変革に向けた第一歩を踏み出していると考えられる。</p>	

第三に、バングラデシュのキショレガンジュ県の Itna 集落の農家を対象とした著者独自のアンケート調査（対面インタビュー）に基づいた SEM 分析の結果からは、農家の災害リスク管理のパフォーマンスに影響を与える要因の間に複雑な因果関係があることが明らかになった。そして、バングラデシュのハオール地域では、性別、貧困、社会資本、技術と訓練に対する農民の態度が災害リスク管理の重要な要素であることが分かった。したがって、「コミュニティレベルでの災害リスク管理における農家のパフォーマンスは、彼らの社会経済的属性、社会関係資本、および地元の制度へのアクセスによって決定される」（仮説3）が検証された。

したがって、上記の分析結果から、農村地域における貧困の原因は、性差別の存在や政府関係者への信頼の低さなど、強い経路依存性があることを認識する必要があるという政策的含意を引き出すことができた。さらに、持続可能な地域開発を実現するためには、これまでとは違った視点から貧困問題を検討し、イノベーションと起業家精神への投資に注意を払うための災害リスク管理政策や戦略の作成への提案を試みる。具体的には、農業機械を操作するための公式ライセンスを女性に提供し、女性が外で働くための安全な環境を作り出すことによって、特に女性に力を与えるための戦略を立てる必要がある。さらに、地方の起業家(女性と男性の両方)が金融にアクセスできるように農村地域において金融協同組合を導入することを通じて金融システムの構造変化は、イノベーションの創出と持続的な発展にとって非常に重要である。言い換えれば、社会文化的・政治的変革を伴わない経済成長は、条件不利地域において新たな問題と矛盾を引き起こす可能性がある。

#### 審査結果の要旨

本論文はバングラデシュの条件不利地域であるハオール地域での持続可能な地域開発に向けたコミュニティレベルでの災害リスク管理における社会文化的変化と農民のパフォーマンスに対する起業家精神と社会的革新の役割を明らかにした。具体的には、既存研究の文献レビューとバングラデシュのハオール地域の現状と特徴を踏まえた仮説と検証方法が提案され、定量的（SEM）と定性的（TEM）アプローチによって、検証を行った。また、分析結果に基づいて総合的な結論を導出した上、持続可能な地域開発の実現のための政策提言を行った。

分析結果からは、社会関係資本の質は社会政治的背景によってグループごとでは異なるものの、起業家精神の発達においては重要であることが明らかになった。そして、CIG(共通利益集団)アプローチは、社会関係資本の蓄積を通じて地方の農業コミュニティが地元の制度にアクセスするためのプラットフォームを構築したことが明らかになった。さらに、農家の災害リスク管理のパフォーマンスに影響を与える要因の間に複雑な因果関係があり、バングラデシュのハオール地域では、性別、貧困、社会資本、技術と訓練に対する農民の態度が災害リスク管理の重要な要素であることが明らかになった。これらの分析結果から、農村地域における貧困の原因は、性差別の存在や政府関係者への信頼の低さなど、強い経路依存性があることを認識する必要があるという政策的含意を引き出すことができた。

本研究で得られた結果はバングラデシュの農業農村開発研究に留まらず、地域科学や開発経済学に新たな知見を与えるものであり、他の途上国が直面する問題に重要な政策含意を示唆している。また、本論文の分析枠組みや分析方法及び主な分析結果は国際学術英文誌 *Asia-Pacific Journal of Regional Science* 2020, 4(3):737-757, 及び『地域学研究』2021,51(1):145-155 に掲載されている。

以上のことから、本論文は博士（農学）の学位論文として十分な内容を持つものと判定した。